

第130回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年1月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,143	-1.77	-0.05	4,066	-0.63	0.07
東部地区	14,393	0.44	0.11	5,510	1.90	0.12
西部地区	10,782	0.42	-0.09	3,871	3.64	0.07
駅南地区	6,389	0.82	0.06	2,586	1.77	0.03
半田地区	3,509	1.91	0.31	1,256	3.20	0.56
横山地区	5,705	1.83	0.15	1,840	3.48	0.16
茨目・田尻地区	6,971	0.99	0.11	2,326	1.97	0.34
荒浜地区	5,292	0.17	-0.37	2,005	1.93	-0.24
その他地区	22,002	-1.64	-0.09	7,248	-0.56	-0.11
西山町地区	6,633	-2.25	-0.07	2,165	-1.09	-0.09
高柳町地区	2,144	-2.89	-0.18	863	-2.48	-0.11
柏崎市計	93,963	-0.37	-0.01	33,736	1.06	0.04
刈羽村	5,003	-0.43	-0.03	1,506	1.34	0.06
小国地区（長岡市）	6,701	-2.78	-0.14	2,148	-0.96	0.18
出雲崎町	5,436	-2.03	0.00	1,823	-0.76	-0.10
合計	111,103	-0.61	-0.02	39,213	0.87	0.04

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で下回り、全体で685人、0.61%の減少となっている。なお、市町村・地区別では柏崎市が358人、0.37%、刈羽村が22人、0.43%、小国地区（長岡市）が192人、2.78%、出雲崎町が113人、2.03%とそれぞれ減少している。

また、前月比においても柏崎市が17人、0.01%、刈羽村が2人、0.03%、小国地区が10人、0.14%と減少していることから、全体では29人、0.02%の減少となっている。

一方、世帯数は前年同月比で柏崎市が355世帯、1.06%、刈羽村が20世帯、1.34%と増加したことから、全体では340世帯、0.87%の増加となった。

また、前月比においても柏崎市が16世帯、0.04%、刈羽村が1人、0.06%、小国町が4人、0.18%と増加し、全体では19世帯、0.04%の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,262		-6.10		1.93	
月間有効求職者	1,149		-4.01		7.78	
月間有効求人倍率	1.10	1.04	-0.02*	0.04*	-0.06*	-0.06*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では月間有効求人数が、前年同月比で82人、6.10%の減少となったものの、前月比では24人、1.93%の増加となっている。

一方、月間有効求職者数も、前年同月比で48人、4.01%の減少、前月比では83人、7.78%の増加となった。

月間有効求人倍率は、前年同月比で0.02ポイント下回り、前月比でも0.06ポイント下回った結果、1.10倍と3ヶ月連続で1倍を超えており、また県平均1.04倍を0.06ポイント上回っている。

なお、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が455人と前年同月比で52人、10.26%の減少となり、月間新規求職者数は406人と前年同月比で39人、10.63%の増加となった結果、月間新規求人倍率は1.12倍と前年同月1.38倍を0.26ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年1月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	14	1	-9	319	47
共 同 住 宅	1	1	0	13	-5
事 務 所	0	-1	-1	6	-5
作 業 所 ・ 工 場	1	1	-1	23	3
営 業 建 物	0	0	-1	23	0
公 共 建 物	1	1	0	8	0
そ の 他	1	-3	-3	102	11
合 計	18	0	-15	494	51

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月申請合計が前年同月比で増減なし、前月比で15件の減少となり、工種全体では18件の申請となっている。工種別内訳における主な増減は、前年同月比ではその他で3件の減少となり、前月比では一般住宅（併用）で9件、その他で3件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が11件、増築が5件、改築が2件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数については、市内施工業者が10件（うち新築7件、増築3件）、市外施工業者が4件（うち新築2件、改築2件）となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,614	0.27	-0.17	25,957	-6.66	27.53
電 力	12,579	-2.67	-0.15	46,697	-5.24	-2.93

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で180口、0.27%と増加したものの、前月比では115口、0.17%の減少となっている。一方、電力では前年同月比で346口、2.67%の減少、前月比でも20口、0.15%と減少している。

使用量においては、電灯が前年同月で1,853kwh、6.66%の減少となったが、前月比では5,604kwh、27.53%と大幅に増加している。また、電力では前年同月比で2,585kwh、5.24%の減少、前月比でも1,412kwh、2.93%の減少となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,944,612	-10.3	26.6	723,272	1.8	3.9
営 業 用	318,415	-12.0	26.3	120,887	-4.4	1.0
工 場 用	546,128	12.2	4.7	153,818	-2.8	7.0
官 公 学 校 用	681,326	-13.1	26.2	78,120	-12.1	-4.3
そ の 他				134	-43.5	-23.4
合 計	3,490,481	-8.2	22.5	1,076,231	-0.7	3.3

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

平成18年5月分から西山町・刈羽村のガス供給量、高柳町・西山町の水道供給量を含めて計算しています。なお、増減率(%)については小数点以下第2位を四捨五入しています。

柏崎地域のガス供給量は、用途全体では前年同月比で8.2%の減少となったものの、前月比では22.5%と大幅に増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用を除く全ての用途で減少しているが、前月比では全ての用途で増加となった。

一方、水道給水量は、用途全体では前年同月比で0.7%と減少したが、前月比では3.3%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用を除く全ての用途で減少しており、前月比では家庭用、営業用、工場用で増加となっている。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	62,600	4.74	-16.32	65,442	4.03	-15.85
西 山	31,996	3.85	-14.38	28,276	4.11	-15.48
米 山	16,422	28.25	-12.53	14,585	23.71	-16.38
合 計	111,018	7.38	-15.23	108,303	6.33	-15.83

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で7,638台、7.38%と増加したものの、前月比では19,946台、15.23%と大幅に減少している。

一方、出口においても同様に、全体では前年同月比で6,453台、6.33%の増加となり、前月比では20,373台、15.83%の大幅な減少となっている。

インター別の内訳を見ると、全てのインターにおいて入口・出口共に前年同月比で増加、前月比では二桁台の大幅な減少率を示している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	324,840	0.25	-1.91	139,088	-0.32	-1.17
平 残	326,168	0.16	0.39	137,832	-0.79	-0.11

預金は、末残が前年同月比で839百万円、0.25%と増加したものの、前月比では6,339百万円、1.91%の減少となっている。また、平残においては前年同月比で527百万円、0.16%の増加、前月比でも1,290百万円、0.39%の増加となった。

一方、貸出金は末残が前年同月比で450百万円、0.32%の減少、前月比でも1,659百万円、1.17%の減少となり、平残においても前年同月比で1,101百万円、0.79%の減少、前月比でも153百万円、0.11%の減少となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	6,389	-4.45	15.11
交 換 金 額	5,417	-1.84	27.82
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	-100.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	-100.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎市内の手形交換高は、交換枚数が前年同月比で298枚、4.45%の減少、前月比では前月末休日要因から839枚、15.11%と大幅に増加している。また、交換金額も同様に前年同月比で102百万円、1.84%の減少、前月比では1,179百万円、27.82%の大幅な増加となった。

なお、不渡手形は平成18年7月以来6ヶ月ぶりに発生しておらず、前年同月比で4枚、1百万円の減少、前月比では11枚、43百万円の減少となっている。

平成19年1月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は2件（前年同月3件、前月4件）、負債総額5億円（同80億円、同23億円）、1件当たりの負債額2億円（同26億円、同5億円）となっている。なお、柏崎地域では発生してはおらず、県内地区別では下越地区2件（新潟市2件）、中越・上越地区では発生していない。業種別はサービス業・その他2件で、倒産原因別の状況は経営計画の失敗1件、販売不振1件となっている。当月は大型倒産（負債10億円以上）の発生はなく、件数・負債総額ともに前年同月、前月を下回っている。

県内の景況感では都市部と比較して回復が遅れていることや、日銀が2月21日に政策金利を0.25%引き上げ0.5%にしたことによる金利上昇の影響や素材価格の高騰なども軽視できない状況にあるため、今後の倒産動向については、更に注視していく必要があるものと思われる。